

山に親しみ山に想う(2*)

—御林山(おはやしやま) 何故「御」—

(記 岡本)

御林山とは優しく美しい山名である。信仰の匂いもしないのだから、林山でも良さそうなのに「御」の冠を被っている。2016年4月に初めて御林山に登ったのは(注1)、清々しい山名に惹かれたからだが、二度目の山行を契機に、ちょっと山名について考えてみることにした。

「郷土史檜原村」(注2)によれば、「江戸時代に幕府直轄の山林として三頭山、熊倉山、白岩山(しらや)、月夜見山、毛手山の五ヶ所の御林山がありました」という。同冊子には、天保9年(1838年)に檜原村の名主、年寄、百姓代が連名で「右絵図に少しも相違ありません」と書き添え、御林奉行に差し出した御林山の絵図が掲載されている。絵図には、「御林 山三頭山」のように山名の上にはっきりと御林山と記されている。これで檜原村に五座の御林山があったことがわかる。

三頭、月夜見、熊倉(笹尾根上の浅間峠と三国峠の間)は「山と高原地図」にある。白岩山は絵図にある数馬の傍に記されており、現在の御林山であることがわかる。なお、御林山は白岩沢の源頭にあるので間違いなく、現在の御林山の本名は白岩山ということである。毛手山は吉備人出版社地図の「モーテ山」(湯久保尾根の湯久保山より登山道を北へ1km登った左手)だと同定されている。これら五座は、浅間尾根と南北秋川の近くにある。江戸幕府は城郭などの建築用材の産出地として直轄地に御林山を設け、他方で治山、治水、防風などの観点から御林山を置くこともあった。

幕府は財政や直轄地の支配を司る勘定奉行の下に御林奉行を配して山の管理、検分や材木の伐採、運搬などを職務とさせた。御林奉行は通常4人~6人で部下として手代、同心、山役人が数名ずつ配された。各藩主も幕府と同じ目的で藩直轄の山林を所有していたが、名称は御林山と呼ぶのは控えて、御山、御立山などと呼んだ。檜原村の御林山を管理するため、御林奉行などの役人が現地巡検することになるが、先の絵図にはその巡検道が浅間尾根道であったことや、尾根の北側の低いところは「御遠見場所」として格好の場所であることが点線で記されている。檜原村の中央を通り地形も緩やかな浅間尾根道は、往昔より中甲州道と呼ばれ、重要な交通路である。

江戸期には馬によって薪炭などの生産物を運び出し日用品などを運び入れる生活の要路であった。檜原村だけでなく、小河内や西原などの村外の人達にも利用されていた。浅間銀座とまでは言えないかもしれないが、相当の交通量があったのであろう。そこを御林奉行などの役人が通る。往來の途上で御休みになるところがある。当時幕府の役人が休憩した茶屋が今も形を少し変えて残っている。

2009年4月末に上川乗バス停—浅間嶺—時坂峠—払沢ノ滝入口バス停ルートを歩いた際、浅間嶺と時坂峠の間にある「峠の茶屋そば処みちこ」に寄った。店先に、「歴史の道、お代官休憩所跡、峠の茶屋チェーン、みちこ」が掛かっていた。そばを食べ終えて茶屋を出ると、10分足らずで第二のお休み処(閉まっていた)があり、さらに4分ほどで元祖手打ちうどんで有名なチェーン店の峠の茶屋があった。ネットで最近の情報を探すと、2019年10月当時、うどんの峠の茶屋は休業中で、沢筋にある「そば処みちこ」の峠の茶屋は2018年末に閉店した後、2019年春に蕎麦がきの店「瀬戸沢」として季節限定で再開したという。チェーン店、峠の茶屋の当主は14代目とい

うから、1代30年とすると、創業は1600年頃になる。時代が変わり、浅間尾根道が新たに開通した車道や林道に人の流れを奪われて、休日のハイキングコースとして歩かれるだけとなつては、峠の茶屋の存続は益々難しい。どうなるのか、何か策はないものか。

2016年4月の秩父御岳山山行の際、下山し秩父市立大滝歴史民俗資料館に立ち寄った。展示を通じて、大滝村にも御林山があつて、その一里半ほどが「稼山」として厳しい山地で生活する領民の生活を支えていたということを知った。御林山への領民の立ち入りには、「木一本、首一本」と言われる程、厳しい制裁が加えられたという。他方で、領民は用材を搬出した後の放置された残材の利用や御林山の下草、枯れ枝、倒木などを採集して利益を得ることを免許されたが、その御林山の部分を稼山(かせぎやま)と呼んだ。当然山役人の検分、採材量に応じた運上(注3)の負担が義務づけられた。大滝村も檜原村の秋川と同じように荒川沿いにある。御林山は明治維新後も開放されずに、官有林、御料林に編入され、さらに国有林に引き継がれたものが多く存在するという。

(注1) 浅間尾根登山口バス停—数馬峠—御林山—仲の平バス停分岐—仲の平バス停

(注2) 平成8年檜原村教育委員会発行、郷土資料館で購入

(注3) 運上とは、江戸時代各種の業者に課した税

(了)